

平成 26 年 11 月 17 日

報道関係各位

銚子信用金庫

## 平成 26 年度上期の事業概況の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5、理事長：松岡明夫）は、平成 26 年度上期（平成 26 年 4 月～9 月）の事業概況を下記のとおり公表いたします。

## 1. 預金積金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 26 年 3 月末	平成 26 年 9 月末	増 減
預金積金	452,348	465,376	13,028
貸出金	144,216	141,123	△3,093

預金積金残高は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開し、前年度末比 13,028 百万円（2.88%）増加し、465,376 百万円となりました。

貸出金残高は、事業性融資については設備資金の需要喚起に取り組むとともに、信用保証協会保証付の制度融資を主体に推進し、個人性融資については金利割引サービスを付加した住宅ローン、無担保住宅ローン、カーローンを中心に推進しましたが、設備資金の需要低迷などにより、前年度末比 3,093 百万円（2.14%）減少し、141,123 百万円となりました。

## 2. 損益の状況

単位：百万円

	平成 25 年 9 月末	平成 26 年 9 月末	増 減
業務純益	1,001	897	△104
経常利益	652	1,354	702
当期純利益	630	1,329	699

業務純益は、貸出金残高の減少や利回りの低下により資金運用収益が前年同期比 224 百万円減少したことなどにより、同 104 百万円（10.38%）減少の 897 百万円となりました。

また、経常利益は、償却・個別貸倒引当金繰入額など臨時費用が前年同期比 590 百万円減少したことなどにより、同 702 百万円（107.66%）増加の 1,354 百万円となり、最終の当期純利益は、同 699 百万円（110.95%）増加の 1,329 百万円となりました。

### 3. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	平成 26 年 3 月末	平成 26 年 9 月末	増 減
不良債権残高	13,921	13,295	△626
不良債権比率	9.58%	9.36%	△0.22%

不良債権については、毎期年度当初に策定する処理計画に基づいて処理を進めたほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施した結果、不良債権額は前期比 626 百万円の減少となり、不良債権比率は、分母となる総与信が減少しましたが同 0.22 ポイント低下の 9.36% となりました。

### 4. 自己資本比率

自己資本比率	平成 26 年 3 月末	平成 26 年 9 月末	増 減
	12.24%	12.71%	0.47%

自己資本は、当期純利益全額を内部留保したことにより、前年度末比 1,253 百万円増加し、自己資本比率は同 0.47 ポイント上昇の 12.71% となりました。

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：森山）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel：0479-25-2115 fax：0479-22-9909 e-mail：keiki02@choshi-shinkin.co.jp

**ちよしんさん**

<http://www.choshi-shinkin.co.jp>